

多古町で野菜栽培機械の実演会を開催

～水田裏作での野菜栽培の定着に向けて～

香取農業事務所改良普及課 令和6年10月7日発

多古町の基盤整備予定2地区では、各地区の中心経営体が基盤整備後の水田裏作野菜の栽培に向けて試作に取り組んでいます。そこで農業事務所では、キャベツやブロッコリー栽培の省力化を目指して、9月18日に「畝立て同時施肥機」及び「半自動野菜移植機」の実演会を開催しました。

当日は、水稻生産者及び関係機関51名が参加し、ヤンマーアグリジャパン(株)から各作業機の特性及び使用方法について説明を受け、実演の様子を見学しました。

その後、生産者も実演機で定植作業を体験し、実際に労働負担の軽減効果を感じていました。また、アンケートでは、野菜栽培における機械導入に加え、畝立て・定植作業の省力化に関心が高まったことが伺えました。農業事務所では、今後も安定した野菜生産に向けて、ほ場排水対策や品目選定などの技術指導を続けていきます。



実演会の様子



生産者による作業体験